

畜舎の火災事故を起こさないために！

冬期間は、空気が乾燥し火災が発生しやすくなっていることに加え、畜舎等において暖房や保温器具等の使用機会が増えます。火災事故から家畜、畜舎を守るために点検等を行いましょ。

1. 暖房器具等の使用時は取り扱いに注意を払うよう心がけましょ

- 暖房器具等の周囲に乾草、エサ袋、木材等の燃えやすいものを置かない。
- 石油ストーブは火をつけたまま給油や移動をしない。

2. 電気設備と配線は漏電と過熱の点検を行いましょ

(1) 漏電の点検

絶縁が傷ついたり、ホコリが付着することによって漏電を起こし、火災や感電の原因になりますので点検しましょ。

- 電気設備と配線に雨や結露などの湿気による被害はありませんか。
- 扉などに挟まれたり、ネズミや害虫にかじられたことによる配線の露出はありませんか。
- コンセントやプラグ、スイッチの周囲にホコリは溜っていませんか。(日常的に、畜舎全体の整理整頓、清掃をしておきましょ。)
- 電気保安協会等の定期点検を受けて漏電の有無を確認しましょ。

(2) 過熱の点検

電気の使用容量をオーバーしたり、コンセント、スイッチの接触が悪くなったりすると過熱による発火の原因となりますので点検しましょ。

- タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。老朽化していませんか。
- 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか。

3. 畜舎火災の発生を想定した準備をしておきましょ

- 消火器具を整備・充実しておきましょ。
- 消火訓練に取り組みましょ。
- 家畜の避難方法や避難場所を検討しておきましょ。